

第5次御宿町総合計画（構成案）

序論

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

- ・第4次計画では「笑顔と夢が膨らむまち」という基本理念を掲げて施策に取り組んでおり、第4次計画の期間終了に伴い第5次計画を策定する。
- ・第5次計画では、新型コロナウイルス感染症の拡大をはじめ、自治体 DX の推進など第4次計画期間中の様々な社会の変化を踏まえて策定する。

2 構成と期間

- ・第5次計画は、第4次計画同様「基本構想」「基本計画」「アクションプラン」の3層構成を想定している。

- ・ **基本構想**: 今後御宿町が目指すべきまちの将来像や人口目標に加え、それらの実現のための基本的な方向性を示すもの。計画期間は令和5年度～12年度までの8年間。
- ・ **基本計画**: 基本構想に基づき、前後期4年間に取り組む主要施策などを各分野で体系的に定める。計画期間は前期:令和5年度～8年度、後期9年度～12年度。
- ・ **アクションプラン**: 基本計画において示した施策の中から、財政状況や社会情勢を考慮して事業を選択し、実施する計画。計画期間は基本計画に合わせる。

3 策定体制

- ・計画の策定にあたっては、アンケートやワークショップなどの手法により住民ニーズの把握に努めるとともに、関係団体・住民・職員などが各種会議でさまざまな知識や意見を出し合い、審議・検討を進めながら策定を進める。

- ・ 御宿町総合計画策定委員会
- ・ 住民アンケート調査
- ・ ONJUKU2030 未来創造 WS(第5次御宿町総合計画策定ワークショップ)

4 踏まえるべき社会潮流

- ・社会潮流を踏まえ、町が横断的に取り組む上で念頭に置くべき方針・姿勢を示す。

- 人口減少社会への対策
- 大規模自然災害への対応
- 高度情報化社会への対応
- SDGsの取り組み
- 感染症等(新型コロナウイルス)への対応
- 住民協働のまちづくりの推進
- 多様性を認めあう社会づくりの推進 など

第2章 現状と課題

※以下の内容から御宿町を取り巻く現状と課題を提示

- 1 本町を取り巻く現状（人口シミュレーションや財政状況の現状など）
- 2 住民の意向（アンケートやワークショップ分析結果など）
- 3 課題解決に向けた重点項目などを洗い出し整理

基本構想

- 1 基本理念・将来像
- 2 人口・財政フレーム
- 3 政策の大綱（分野別計画の体系）